



ふらの 富良野プリンスホテル・NPO法人C・C・C富良野自然塾（富良野市/北海道）

地域特性

国有林を主体とする富良野市中御料のスキー場の山麓にある丘陵地はもともと雑木林でしたが、夏季のレジャー施設としてプリンスホテルがゴルフ場（面積約46ha）を建設し運営していました。ゴルフ場の両側には富良野プリンスホテル、新富良野プリンスホテルが立地し、ホテルからのアクセスが容易な立地になっています。

きっかけ

平成17年に経営上の理由からプリンスホテルがゴルフ場を閉鎖したことがきっかけです。

何をを目指したか

富良野スキー場等の観光業を営むプリンスホテルとしては自社誘致を有効に活用して、夏季の観光客誘致を図るための新たな魅力づくりが必要と考えました。そのため、ホテル宿泊客が滞在期間中に楽しめるガーデンの整備を目指しました。また、地元富良野に居住する脚本家、倉本聡氏から環境教育と植樹の場所として一部活用したい旨の申し出を受けて合意しました。

何をやったか＜地目変更や自然に返す＞

ガーデンの整備を進めていく際に倉本氏から、魅力的なガーデンづくりをする助言を受け、フェアウェイ跡地を英国式庭園として整備しました。その整備をする過程で、倉本氏が製作を予定していたドラマ（『風のガーデン』）のロケ地にすることが決まり、施設名も「風のガーデン」（庭園、ドラマセット、ワーク施設など）となりました。また同時に、倉本氏からの土地活用の申し出に対してはプリンスホテルが「NPO法人C・C・C富良野自然塾」に土地を貸与して、同法人が環境教育を行うフィールド「富良野自然塾」としてミズナラ、トドマツ、カツラなどの富良野の在来樹種を植えています。

主な課題

＜人（主体）＞

プリンスホテルは「風のガーデン」の運営のため、オペレーションを担う人材を確保する必要がありました。
→解決策は後述

＜土地＞

英国式庭園「風のガーデン」ではゴルフ場であったことを想像させないよう、特にバンカーを上手に再整備し、ゴルフ場の印象を薄めるかが課題でした。
→解決策は後述

＜仕組み＞

事業運営のため「富良野自然塾」の活動主体を法人化する必要がありました。
→解決策は後述



●期待される効果

国土管理

・閉鎖したゴルフ場を新たな観光利用目的の土地に転換

自然共生

・ゴルフ場開発で失った在来植生の回復

防災・減災

地域づくり

・夏季の観光集客の確保
・環境教育の実施

関連予算

自主財源（プリンスホテル）、会費収入、
自主財源（NPO法人）、特別協賛（銀行）

問い合わせ先

プリンスホテル富良野スキー場（0167-22-1111）
NPO法人C・C・C富良野自然塾（0167-22-4019）

●取組のステップ

平成18年

富良野自然塾活動開始

ゴルフ場跡地の一部がNPO法人C・C・C富良野自然塾に貸与され、同法人は平成18年より活動を開始しました。主な活動は、環境学習と、敷地内のゴルフ場フェアウェイ跡地における植樹活動（自然返還）です。



植樹前（左）、植樹後（中央）植樹の様子（右）
（NPO法人C・C・C富良野自然塾 HPより）

平成20年

風のガーデン整備

英国式庭園の整備を進める過程で、地元在住の倉本聡氏脚本のテレビドラマ『風のガーデン』（平成20年10月～12月放映）のロケ地にする提案が本人からあり、平成19年よりロケを開始しました。ロケ終了後の平成20年に英国式庭園「風のガーデン」を一般公開し、観光客が来訪しています。同施設は、庭園とドラマセット（ロケに利用）、ワークショップ施設などからなります。



バラ園（英国式庭園）
（プリンスホテルHPより）

ドラマセットを残したグリーンハウス（プリンスホテルHPより）

英国式庭園「風のガーデン」は10周年を経過し、早朝のサービス（モーニングガーデン）などの新たなサービス展開をしています。またNPO法人C・C・C富良野自然塾は、植樹活動が進展したことから、植樹した森林の間伐や間伐材の利用を進め、環境教育については他の地域へ出向いての講座などの取組を目指しています。

今後の展望

●得られた知見（課題と対応詳細）

＜人（主体）＞

□地元の担い手の確保

プリンスホテル、NPO法人ともに運営スタッフを募集する必要がありました。プリンスホテルについてはドラマや倉本氏の知名度なども影響しスタッフを確保できました。NPO法人も一般募集やプログラム参加者への声かけなどによりスタッフを確保しています。

＜土地＞

□ゴルフ場だったことを上手に隠す

英国式庭園「風のガーデン」では、ゴルフ場のフェアウェイ跡地を庭園として整備しましたが、バンカーの取り扱いが課題でした。池として活用したり、種類、高さの異なる草本類を入れるグラスガーデン化するなどしてバンカーの痕跡を消して活用しています。

＜仕組み＞

□既存企業と新設NPOによる実践

英国式庭園「風のガーデン」はプリンスホテルの直営としましたが、富良野自然塾を運営していくためには活動主体を法人化する必要がありました。活動の趣旨から、非営利活動であることを明確化するためNPO法人が妥当と判断しました。



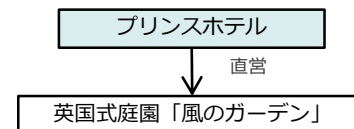
富良野自然塾における自然学習の様子
（NPO法人C・C・C富良野自然塾HPより）



施設「風のガーデン」における「押し花工房」での体験の様子（プリンスホテルHPより）

●仕組みや体制

●英国式庭園「風のガーデン」の体制



●フィールド「富良野自然塾」の体制

